

2023年4月2日

主日礼拝【聖餐式】

①10:30 ②13:00

司会：① 惣川宜靖 兄 ② 橋本光 兄

プレイズ

黙祷/祈禱

主の祈り

聖書

誕生祝福

メッセージ

祈禱

頌栄

祝禱

報告

聖餐式

使徒行伝 17章 10-15節 (新約 p.211)

神の指 (Fingerprints of God) シリーズ 78 柴田順一 牧師

「ただちに」 “Quo Vadis Domine”

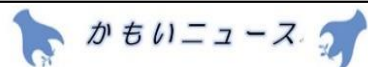
「十字架にイエスキミ (聖歌 402)」

(司会者)

(起立)

(起立)

(牧師)



◇ 新年度も皆様を歓迎します。本日も YC カフェ は礼拝後にオープン！

本日の豆：ゴールデンモカブレンド 紅茶：アッサムティー (各¥100)

◇ 本日より受難週、金曜日が受難日です。十字架の主を覚えて祈りましょう。

◇ 礼拝後に聖餐式を行います。洗礼(バプテスマ)を受けておられる方は、案内に従って講壇前で聖餐をお受けください。式中、会堂の前方では祈り心で、会話/挨拶等はお控えくださり、列に静かに並びくださいますよう。

◇ 今週木曜のタウンニュースに「心のエステ」4月号が掲載されます。

◇ 来週はいよいよ「イースター音楽礼拝」です。チラシ配布をお願いします！

◇ 聖書ガイド「リビングライフ4月号」(¥650)販売中です。残り僅かです。

◇ 礼拝献金、什一献金等は、受付前の木製献金箱をご利用ください。

□ 本日の予定 10:30「キッズチャーチ」4F集合

11:45~12:15「執事会」5F

□ 今週の予定 水曜 19:30~20:30「バイブルラウンジ」

土曜 13:30~14:00「礼拝堂お掃除」

ここにいるユダヤ人はテサロニケの者たちよりも素直であって、心から教を受け入れ、果してそのとおりかどうかを知ろうとして日々、聖書を調べていた。

使徒行伝 17章11節



「新しい道」

アメリカの山奥に住んでいるスミスさんの家に犬が迷い込んで住みついてしまった。困ったスミスさんは、ある日、犬をトラックで遠くに連れて行き、そこに置いて来た。ホッとしたついでに町で買い物をして家に帰ると、何と、先ほど置いて来たはずの犬が彼を迎えた。奥さんが「もっと遠くに、山道をぐるぐるまわって、一度も行った事がないような遠くに置いてくればいいのよ」と言ったので、スミスさんは奥さんの言葉通りに、今度ばかりは大丈夫と犬を置いてきた。約2時間後、スミスさんから電話があった。「ちょっと聞きたいんだが、あの犬戻ってきてるか?」。奥さんが「ええ、また戻ってきてるわよ」と答えると、「そうか、ちょっと頼みがあるんだが、その犬を電話に出してくれないか。。道に迷って帰れないんだよ」。

「私は道である」と言われたキリストは、私の帰るべき道も知っておられる。そして、その道を教えてくれるだけでなく、私の明日という道を作られる方である。この新しい4月礼拝より、高校生達が礼拝の司会や祈禱の奉仕をされる。彼らが主への感謝と喜びをもって信仰によって立ち上がられたのであり、その真実な思いに年齢などない。神は幼いサムエルや若きダビデに語り、召し、用いて歴史を作られた方である。純粹に心から主に仕えたいという若き彼らの信仰から私達も教えられる。日本や世界で活躍する神の器・大川従道師も、高校生のお兄様が語る説教で救いの決断をされたのであるから。これが開かれた「カルバリーチャペルの伝統」と言いたい。人生の節目である新たな出発の4月、神がここに多くの新しい道を作られますように！熱きお祈りと励ましをもって彼らを応援して下さい！

今週の聖書通読【リビングライフ3-4月号】

2 日	ユダの手紙	1:17-25	偽りの教えに対抗する原理
3 月	マタイ福音書	26:6-16	高価な香油を注いだ女
4 火	マタイ福音書	26:26-35	最後の過越の晩餐
5 水	マタイ福音書	26:36-50	祈られるイエス、眠った弟子たち
6 木	マタイ福音書	27:15-26	群衆の選択
7 金	マタイ福音書	27:35-53	イエスの死と聖徒たちの復活
8 土	イザヤ書	53:4-12	イエスの苦難の意味
9 日	マタイ福音書	28:1-15	よみがえられたイエス